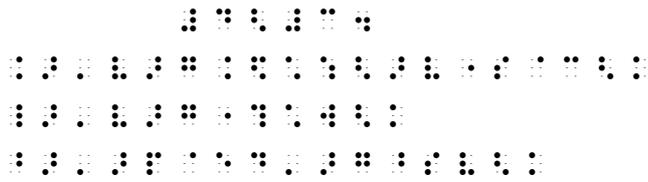




15-36

変更は、片手だけか両手か、あるいはペダルにも記すか、慎重に注意深くなされなくてはならない。例15-36のように、墨字では、略語はしばしば複数の譜表にまたがって、一つだけ書かれている事がある。レジストレーションが2つ以上の譜表に適用される時は、点字においては、すべての関連するパートに記すべきである。墨字で使われている略語や言葉は、点字でも同様に記すべきである。

例15-36

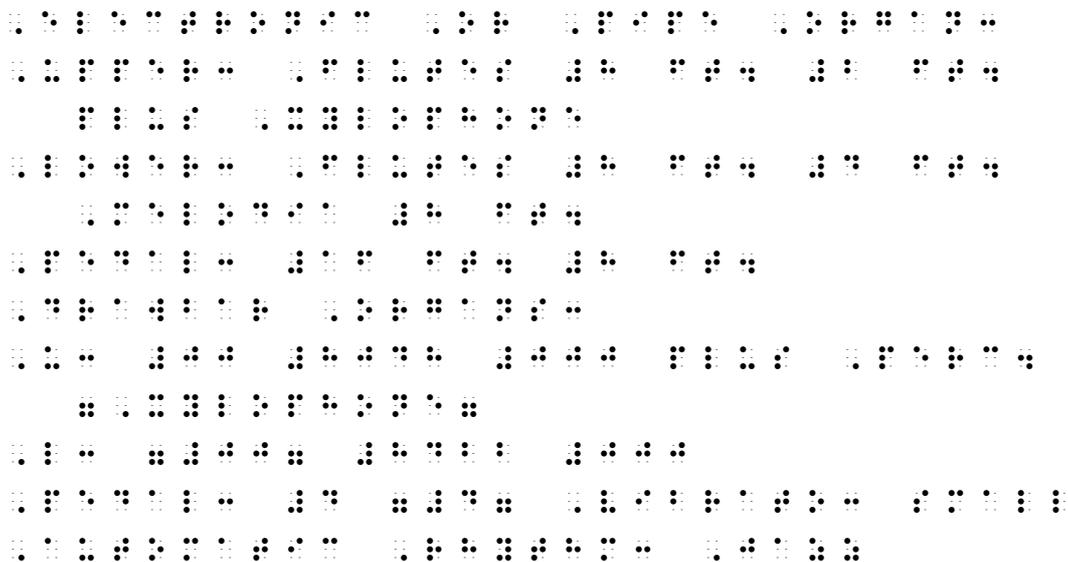


Péd. G

15-37

墨字で、2つ以上のタイプのレジストレーションが記されている時は、点字においても同様に記されるべきである。例15-37の墨字図表は、“電子あるいはパイプオルガン”と“ドローバーオルガン”のためのレジストレーションの説明である。言葉や数字の連続は墨字通りに点訳される。

例 15-37



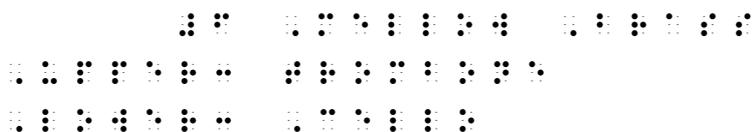
Electronic Or Pipe Organ:	Upper: Flutes 8', 2' + Xylophone	Lower: Flutes 8', 4' Melodia 8'	Pedal: 16', 8'
Drawbar Organs:	00 8048 000 + Perc.(Xylophone)	(00) 8422 000	Pedal: 4(4) Vibrato: Small

Automatic Rhythm: Jazz

15-38

レジストレーションの表記は、多種多様である。電子鍵盤楽器には時々、楽器の種類を絵で表すストップが付いている。下の墨字のレジストレーションでは、楽器の絵が描かれている。点字では、その名前を記す。

例 15-38



6 MELLOW BRASS

Upper:

Lower: